



令和3年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年5月12日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東
 コード番号 6087 URL https://www.abist.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 進 顕 (TEL) 0422-26-5960
 四半期報告書提出予定日 令和3年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年9月期第2四半期の連結業績(令和2年10月1日～令和3年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第2四半期	4,516	△3.7	302	△42.4	383	△22.9	245	△26.2
2年9月期第2四半期	4,688	5.3	525	△24.1	496	△29.7	332	△29.4

(注) 包括利益 3年9月期第2四半期 263百万円(△30.9%) 2年9月期第2四半期 381百万円(△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
3年9月期第2四半期	61	68	—	—
2年9月期第2四半期	83	60	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年9月期第2四半期	7,998	70.3	5,627	70.3	—	—
2年9月期	8,149	70.8	5,769	70.8	—	—

(参考) 自己資本 3年9月期第2四半期 5,627百万円 2年9月期 5,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2年9月期	—	0.00	—	102.00	102.00	—
3年9月期	—	0.00	—	—	—	—
3年9月期(予想)	—	—	—	102.00	102.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年9月期の連結業績予想(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,150	△1.2	500	△39.9	630	△22.8	700	401.2	175	88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年9月期2Q	3,980,000株	2年9月期	3,980,000株
② 期末自己株式数	3年9月期2Q	344株	2年9月期	294株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年9月期2Q	3,979,675株	2年9月期2Q	3,979,775株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチン接種率の増加によって景況感が改善する中であっても、ウイルスの新たな変異株やさらなる人的犠牲によって懸念が生じています。先行きについては、異例の不確実性が高い状況である一方、ワクチンや主要国における追加的な政策支援により成長の回復が予測されています。

我が国経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、再び緊急事態宣言が発令されるなど依然として厳しい状況が続いております。先行きについては、国内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分留意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、一部で半導体不足による生産調整の動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みが徐々に回復し、CASE対応に向けて研究開発予算も維持していくものとみられます。当社が主力とする設計開発アウトソーシング事業は生産の上流工程である為、自動車メーカーの工場稼働停止や減産が、契約解除等の直接的な影響は少ないものとみえますが、新型コロナウイルス感染症流行前の稼働工数への回復には時間を要することが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化、さらに深刻化した際には業績に影響を及ぼす可能性もある為、引き続き、業界の動向に注視する必要があります。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業における請負業務の拡大を中心に、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は45億16百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は3億2百万円（同42.4%減）、経常利益は3億83百万円（同22.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億45百万円（同26.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は43億41百万円（前年同期比3.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は7億11百万円（同30.2%減）、セグメント利益（営業利益）率16.4%となりました。技術者稼働率が高水準で推移した一方、次の成長に向けたOJT教育の強化により技術者一人当たりの売上高が減少したことにより、減収減益となりました。

②3Dプリント事業

当セグメントにおきましては、DfAM（3Dプリント向け設計）関連を含めた提案営業を積極的に実施した一方で、緊急事態宣言下での取引先からの受注遅れなどにより、売上高は、46百万円（前年同期比9.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は30百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）98百万円）となりました。

③美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、美容商品のテレビ通販放映による売上が減少した一方で、水素水のOEM受注や広告宣伝・販売促進費を含む経費の見直しを実施した結果、売上高は82百万円（前年同期比22.8%減）、セグメント損失（営業損失）は34百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）61百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、賃貸物件が引き続き高稼働した一方で、当第1四半期連結累計期間に三鷹の賃貸物件の不動産取得税支払いが生じた結果、売上高は46百万円（前年同期比2.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は15百万円（同27.9%減）、セグメント利益（営業利益）率33.7%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は79億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は23億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金による増加があった一方で、未払消費税等の減少があったことなどにより前連結会計年度からやや減少となりました。

純資産合計は56億27百万円となり、主に配当金の支払いにより前連結会計年度末に比べ1億42百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年9月期の通期の業績予想につきましては、令和3年4月20日付「令和3年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（令和3年5月12日）公表いたしました「令和3年9月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,017,873	2,909,611
売掛金	1,235,380	1,205,897
仕掛品	47,257	73,619
原材料	34,834	31,279
その他	146,152	129,318
流動資産合計	4,481,497	4,349,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,204,945	1,182,560
土地	1,323,948	1,323,948
その他(純額)	166,692	153,057
有形固定資産合計	2,695,586	2,659,567
無形固定資産	238,819	258,565
投資その他の資産	733,185	730,824
固定資産合計	3,667,591	3,648,957
資産合計	8,149,089	7,998,683
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	150,000
未払金	562,390	578,543
未払法人税等	172,753	173,921
賞与引当金	347,614	356,927
その他の引当金	—	39,995
その他	354,730	173,824
流動負債合計	1,487,489	1,473,210
固定負債		
役員退職慰労引当金	245,002	230,048
退職給付に係る負債	563,112	585,000
その他	83,966	83,382
固定負債合計	892,081	898,430
負債合計	2,379,570	2,371,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	3,878,445	3,717,980
自己株式	△929	△1,081
株主資本合計	5,920,816	5,760,199
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△151,297	△133,157
その他の包括利益累計額合計	△151,297	△133,157
純資産合計	5,769,519	5,627,041
負債純資産合計	8,149,089	7,998,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
売上高	4,688,589	4,516,904
売上原価	3,360,054	3,453,605
売上総利益	1,328,535	1,063,298
販売費及び一般管理費	803,198	760,816
営業利益	525,337	302,482
営業外収益		
受取配当金	5,944	—
受取手数料	678	334
助成金収入	330	80,211
その他	353	145
営業外収益合計	7,305	80,691
営業外費用		
支払利息	92	111
投資有価証券売却損	34,080	—
その他	1,480	—
営業外費用合計	35,652	111
経常利益	496,990	383,062
税金等調整前四半期純利益	496,990	383,062
法人税、住民税及び事業税	197,667	143,720
法人税等調整額	△33,375	△6,122
法人税等合計	164,292	137,597
四半期純利益	332,698	245,464
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,698	245,464

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
四半期純利益	332,698	245,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,930	—
退職給付に係る調整額	13,993	18,139
その他の包括利益合計	48,924	18,139
四半期包括利益	381,622	263,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381,622	263,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	496,990	383,062
減価償却費	139,738	90,641
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,311	9,313
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	41,148	48,034
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14,495	△14,954
受取利息及び受取配当金	△5,962	△17
支払利息	92	111
投資有価証券売却損益 (△は益)	34,080	—
助成金収入	—	△80,211
売上債権の増減額 (△は増加)	48,935	29,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61,955	△25,896
前払費用の増減額 (△は増加)	2,922	14,106
未払金の増減額 (△は減少)	△5,904	△29,892
未払消費税等の増減額 (△は減少)	191,728	△183,437
その他	64,676	55,175
小計	977,295	295,517
利息及び配当金の受取額	1,897	17
利息の支払額	△92	△97
法人税等の支払額	△162,599	△144,059
助成金の受取額	—	80,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	816,501	231,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,834	△10,100
無形固定資産の取得による支出	△39,182	△22,458
投資有価証券の取得による支出	△311,111	—
投資有価証券の売却による収入	498,492	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,254	△3,282
敷金及び保証金の回収による収入	10,947	1,895
その他	△6,172	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,886	△33,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△594
自己株式の取得による支出	—	△152
配当金の支払額	△405,261	△405,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,261	△305,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	501,126	△108,262
現金及び現金同等物の期首残高	2,201,762	3,017,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,702,888	2,909,611

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和元年10月1日 至 令和2年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産 賃貸事業			
売上高							
外部顧客への売上高	4,485,002	51,670	106,657	45,259	4,688,589	—	4,688,589
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	317	—	317	△317	—
計	4,485,002	51,670	106,975	45,259	4,688,907	△317	4,688,589
セグメント利益又は損失 (△)	1,019,748	△98,726	△61,845	21,666	880,843	△355,505	525,337

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△355,505千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和2年10月1日 至 令和3年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソー シング事業	3Dプリント 事業	美容・健康 商品製造 販売事業	不動産 賃貸事業			
売上高							
外部顧客への売上高	4,341,270	46,746	82,552	46,335	4,516,904	—	4,516,904
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	75	—	75	△75	—
計	4,341,270	46,746	82,627	46,335	4,516,979	△75	4,516,904
セグメント利益又は損失 (△)	711,889	△30,527	△34,443	15,616	662,534	△360,052	302,482

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△360,052千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、令和3年4月14日開催の取締役会において、下記の通り固定資産の譲渡について決議し、令和3年4月20日に契約を締結し譲渡しております。

1. 譲渡理由

当該固定資産は、当社経営資源の有効活用を図るため、譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

- ①所在地 東京都渋谷区富ヶ谷
- ②物件種類 事務所・共同住宅
- ③構造 鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付き4階建
- ④敷地面積 264.46㎡
- ⑤延床面積 756.95㎡
- ⑥譲渡益 400百万円
- ⑦帳簿価格 374百万円

※譲渡益は譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る費用を控除した概算金額を記載しております。

3. 譲渡先の概要

当該不動産売買契約における譲渡先との守秘義務により、譲渡先及び譲渡価額については公表を差し控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先の間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、譲渡先は当社の関連当事者には該当しておりません。

4. 譲渡の日程

契約締結日・引渡日 令和3年4月20日

5. 損益に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴う固定資産譲渡益の概算額400百万円につきましては、令和3年9月期第3四半期の連結決算および個別決算において特別利益に計上する予定です。